

2023年8月10日

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 光 行 康 明
(コード番号 3856 東証スタンダード)
問 合 せ 先 : 執 行 役 員 管 理 本 部 長 小 野 公 久
電 話 : 0 3 - 6 8 1 0 - 3 0 2 8 (代 表)

Offsite Corporate PPA の推進に関する 三井物産プラントシステム株式会社様との共同事業検討開始のお知らせ

Abalance 株式会社(以下、「当社」という。本社:東京都品川区、代表取締役社長:光行 康明)は、連結子会社の WWB 株式会社(以下、「WWB」という。本社:東京都品川区、代表取締役:龍 潤生)及び三井物産プラントシステム株式会社様(以下、「MPS」という。本社:東京都港区、代表取締役社長:谷垣 匡輝)と、「Offsite Corporate PPA 型太陽光発電事業共同開発に関する覚書」(2023年8月10日付)を3社間で締結し、脱炭素社会の実現に向けて、同事業の検討を進めることに合意したことをお知らせいたします。

WWB は、太陽光発電事業を中心とするグリーンエネルギー事業を営む当社グループの中核企業であり、近年は太陽光発電所の自社保有により、開発・取得後も売電収入を収受するストック型ビジネスモデル、PPA 事業等を推進しております。MPS は、電力・交通・製鉄・化学等の社会を支える幅広い基幹インフラや基礎産業分野向けプラント・設備機器・関連部品の販売等を営む三井物産株式会社様のグループ企業です。

本事業の推進にあたっては、当社グループの太陽光発電事業に係るワンストップソリューションの提供と、MPS は Offsite Corporate PPA を含む太陽光発電所を活用した脱炭素ソリューションに取り組む一方、三井物産グループ様として、アンモニアや水素混焼、燃料転換技術、CO2 回収技術等に関連するソリューション開発に取り組まれており、双方の強みを活用していく方針です。

Offsite Corporate PPA 型太陽光発電事業の開発・遂行を目的とする新会社(特別目的会社)を共同で設立し、需要家候補と PPA 協議を順次、開始して参ります。なお、WWB は MPS とすでに当共同事業とは異なるスキームでの複数の個別事業について具体的な協議を進めております。

【今後の見通し】

本件による、当社の 2024 年 6 月期連結業績に与える影響額につきましては軽微であると見込んでおりますが、今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上